

令和元年 11 月 21 日  
気象庁地震火山部

## 「海水浴場における視覚的伝達手段の有効性検証」の実施について（ご案内）

### 1. 概要

気象庁が津波注意報・警報及び大津波警報（以下「津波警報等」という。）を発表した際、海水浴場を利用している聴覚障害者にこのことを視覚的に伝える手段として、特定の旗の掲揚があります。

気象庁が開催する「津波警報等の視覚による伝達のあり方検討会」における議論に資するよう、筑波技術大学、公益財団法人日本ライフセービング協会及び一般財団法人全日本ろうあ連盟のご協力のもと、実際に各種旗を海水浴場で掲揚し、聴覚障害者が沖から視認できるか（視覚による伝達手段として有効であるか）を検証します。検証結果は、「津波警報等の視覚による伝達のあり方検討会」（第2回）に報告する予定です。

つきましては、下記のとおりご案内いたします。

### 記

#### （1）日時

令和元年 11 月 29 日（金）13 時 00 分～15 時 00 分

（予備日：12 月 6 日（金）同時刻）

※天候不順の場合は延期とする。

#### （2）場所

神奈川県横浜市「海の公園」（横浜市金沢区：シーサイドライン「海の公園柴口」駅または「八景島」駅からすぐ）

※公園内の指定されたエリアで実施します。（詳細は次頁マップ参照）



「海の公園」ホームページより

### (3) 参加者 (予定)

筑波技術大学生及び引率教員、神奈川県在住の聴覚障害者  
気象庁その他関係者



「海の公園」ホームページ掲載のマップに追記

## 2. 問い合わせ先

地震火山部管理課 橋本・甫木 03-3212-8341 (内線 4519、4671)